

# 平成27年度 財政状況資料集

## 総括表 (市町村)

都道府県名	茨城県		市町村類型	I - 2		指定団体等の指定状況		区分		区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)																																																																																																																																																	
						財政健全化等	×	歳入総額	25,320,253	21,023,349	実質収支比率			27.5	9.7																																																																																																																																															
市町村名	潮来市		地方交付税種地	2-2		財源超過	×	歳出総額	22,621,805	18,449,673	経常収支比率	91.9	92.5																																																																																																																																																	
						首都	×	歳入歳出差引	2,698,448	2,573,676	(※1)	(98.1)	(99.6)																																																																																																																																																	
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	662,390	1,860,009	標準財政規模	7,408,020	7,380,570																																																																																																																																																	
						中部	×	実質収支	2,036,058	713,667	財政力指数	0.49	0.49																																																																																																																																																	
人口	27年国調(人)	29,111	産業構造(※5)			過疎	×	単年度収支	1,322,391	-309,568	公債費負担比率	10.5	11.2																																																																																																																																																	
	22年国調(人)	30,534				山振	×	積立金	1,083	159,339	健全化判断比率																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-4.7				低開発	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																	
住民基本台帳人口(※7)	28.01.01(人)	29,232	第1次	22年国調	675	17年国調	665	低開発	×	積立金取崩し額	57,703	-	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																															
	うち日本人(人)	28,923			4.7	4.5		指数表選定	○	実質単年度収支	1,265,771	-150,229	実質公債費比率	5.4	5.6																																																																																																																																															
	27.01.01(人)	29,441	第2次							基準財政収入額	2,959,892	2,828,939	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	29,129			4,504	4,825				基準財政需要額	6,001,072	5,754,707																																																																																																																																																		
	増減率(%)	-0.7			31.2	32.3				標準税収入額等	3,722,141	3,610,748																																																																																																																																																		
	うち日本人(%)	-0.7	第3次		9,239	9,014				経常経費充当一般財源等	6,914,922	6,862,444																																																																																																																																																		
	面積(km <sup>2</sup> )	71.40			64.1	60.4				歳入一般財源等	11,944,332	11,323,872																																																																																																																																																		
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	408								地方債現在高	12,108,940	12,248,245																																																																																																																																																			
世帯数(世帯)	10,547								うち公的資金	7,074,231	7,085,928																																																																																																																																																			
職員の状況																																																																																																																																																														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	12,108,940	12,248,245																																																																																																																																																			
	市区町村長	1	5,488		一般職員	206	664,350	3,225	債務負担行為額(支出予定額)	1,251,185	863,006																																																																																																																																																			
	副市区町村長	1	6,080		うち消防職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																			
	教育長	1	5,500		うち技能労務職員	7	20,972	2,996	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																			
	議会議長	1	3,270		教育公務員	4	12,408	3,102	財政調整基金	2,508,630	2,565,250																																																																																																																																																			
	議会副議長	1	2,790		臨時職員	-	-	-	減債基金	248,501	248,324																																																																																																																																																			
	議会議員	14	2,590		合計	210	676,758	3,223	その他特定目的基金	3,269,324	12,754,313																																																																																																																																																			
					ラスバイレス指数				97.1																																																																																																																																																					
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>事業会計の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法適)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法非適)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>関係する一部事務組合等一覧 項番</td> <td>組合等名</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧 項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>潮来市国民健康保険特別会計</td> <td>(5)</td> <td>潮来市水道事業会計</td> <td>(7)</td> <td>潮来市下水道事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>茨城県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td>(19)</td> <td>潮来市開発公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>潮来市介護保険特別会計</td> <td>(6)</td> <td>潮来市工業用水道事業会計</td> <td>(8)</td> <td>潮来市農業集落排水事業特別会計</td> <td>(10)</td> <td>茨城県市町村総合事務組合(県民交通災害共済特別会計)</td> <td>(20)</td> <td>いたこ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>潮来市後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>茨城租税債権管理機構</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>茨城県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>茨城県後期高齢者医療広域連合(後期高齢医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>鹿行広域事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>鹿行広域事務組合(養護老人ホーム事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>鹿行広域事務組合(消防特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>鹿行広域事務組合(火葬場事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>鹿行広域事務組合(審査会特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	潮来市国民健康保険特別会計	(5)	潮来市水道事業会計	(7)	潮来市下水道事業特別会計	(9)	茨城県市町村総合事務組合(一般会計)	(19)	潮来市開発公社				(3)	潮来市介護保険特別会計	(6)	潮来市工業用水道事業会計	(8)	潮来市農業集落排水事業特別会計	(10)	茨城県市町村総合事務組合(県民交通災害共済特別会計)	(20)	いたこ				(4)	潮来市後期高齢者医療特別会計					(11)	茨城租税債権管理機構												(12)	茨城県後期高齢者医療広域連合(一般会計)												(13)	茨城県後期高齢者医療広域連合(後期高齢医療特別会計)												(14)	鹿行広域事務組合(一般会計)												(15)	鹿行広域事務組合(養護老人ホーム事業特別会計)												(16)	鹿行広域事務組合(消防特別会計)												(17)	鹿行広域事務組合(火葬場事業特別会計)												(18)	鹿行広域事務組合(審査会特別会計)				
	一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																
(1)	一般会計	(2)	潮来市国民健康保険特別会計	(5)	潮来市水道事業会計	(7)	潮来市下水道事業特別会計	(9)	茨城県市町村総合事務組合(一般会計)	(19)	潮来市開発公社																																																																																																																																																			
		(3)	潮来市介護保険特別会計	(6)	潮来市工業用水道事業会計	(8)	潮来市農業集落排水事業特別会計	(10)	茨城県市町村総合事務組合(県民交通災害共済特別会計)	(20)	いたこ																																																																																																																																																			
		(4)	潮来市後期高齢者医療特別会計					(11)	茨城租税債権管理機構																																																																																																																																																					
								(12)	茨城県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(13)	茨城県後期高齢者医療広域連合(後期高齢医療特別会計)																																																																																																																																																					
								(14)	鹿行広域事務組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(15)	鹿行広域事務組合(養護老人ホーム事業特別会計)																																																																																																																																																					
								(16)	鹿行広域事務組合(消防特別会計)																																																																																																																																																					
								(17)	鹿行広域事務組合(火葬場事業特別会計)																																																																																																																																																					
								(18)	鹿行広域事務組合(審査会特別会計)																																																																																																																																																					

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

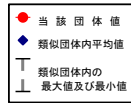
歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				歳出の状況(単位:千円・%)								
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	目的別歳出の状況(単位:千円・%)							
								区分					決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
地方税	3,120,014	12.3	2,970,739	42.2	普通税	2,961,121	94.9	-	議会費	144,647	0.6	-	-	144,647		
地方譲与税	178,841	0.7	178,841	2.5	法定普通税	2,961,121	94.9	-	総務費	1,089,069	4.8	51,386	-	932,382		
利子割交付金	4,544	0.0	4,544	0.1	市町村民税	1,446,735	46.4	-	民生費	4,026,123	17.8	28,722	1,998,189	1,998,189		
配当割交付金	17,187	0.1	17,187	0.2	個人均等割	48,564	1.6	-	衛生費	1,095,790	4.8	123,969	-	986,851		
株式等譲渡所得割交付金	16,781	0.1	16,781	0.2	所得割	1,190,227	38.1	-	労働費	47,040	0.2	-	-	164		
地方消費税交付金	499,769	2.0	499,769	7.1	法人均等割	67,074	2.1	-	農林水産業費	330,152	1.5	36,084	248,903	248,903		
ゴルフ場利用税交付金	38,908	0.2	38,908	0.6	法人税割	140,870	4.5	-	商工費	219,864	1.0	20,164	191,507	191,507		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,212,648	38.9	-	土木費	12,291,832	54.3	11,420,133	2,100,366	2,100,366		
自動車取得税交付金	32,810	0.1	32,810	0.5	うち純固定資産税	1,195,023	38.3	-	消防費	497,632	2.2	8,794	477,845	477,845		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	62,600	2.0	-	教育費	1,376,981	6.1	384,633	911,753	911,753		
地方特例交付金	11,671	0.0	11,671	0.2	市町村たばこ税	239,138	7.7	-	災害復旧費	193,068	0.9	-	4,124	4,124		
地方交付税	5,085,677	20.1	3,210,430	45.6	釐産税	-	-	-	公債費	1,309,607	5.8	-	1,252,258	1,252,258		
普通交付税	3,210,430	12.7	3,210,430	45.6	特別土地保有税	-	-	-	諸支出金	-	-	-	-	-		
特別交付税	302,053	1.2	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	-		
震災復興特別交付税	1,573,194	6.2	-	-	目的税	158,893	5.1	-	歳出合計	22,621,805	100.0	12,073,885	9,248,989	9,248,989		
(一般財源計)	9,006,202	35.6	6,981,680	99.1	法定目的税	158,893	5.1	-	性質別歳出の状況(単位:千円・%)							
交通安全対策特別交付金	4,053	0.0	4,053	0.1	入湯税	9,618	0.3	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率		
分担金・負担金	24,741	0.1	-	-	事業所税	-	-	-	義務的経費計	5,533,567	24.5	3,613,307	3,581,194	47.6		
使用料	106,253	0.4	12,033	0.2	都市計画税	149,275	4.8	-	人件費	1,861,366	8.2	1,741,939	1,711,837	22.8		
手数料	87,751	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	うち職員給	1,078,589	4.8	1,013,953	-	-		
国庫支出金	1,740,218	6.9	-	-	法定外目的税	-	-	-	扶助費	2,362,594	10.4	619,110	617,099	8.2		
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	公債費	1,309,607	5.8	1,252,258	1,252,258	16.6		
都道府県支出金	823,518	3.3	-	-	合計	3,120,014	100.0	-	元利償還金	1,309,607	5.8	1,252,258	1,252,258	16.6		
財産収入	52,579	0.2	48,414	0.7	区分			平成27年度	平成26年度							
寄附金	13,467	0.1	-	-	徴収率(%)	現年計	98.7	94.7	98.3	94.0						
繰入金	9,572,897	37.8	-	-	市町村民税	98.8	95.0	98.1	94.4							
繰越金	2,573,676	10.2	-	-	純固定資産税	98.5	93.9	98.4	92.9							
諸収入	285,149	1.1	-	-	公営事業等への繰出			国民健康保険事業会計の状況								
地方債	1,029,749	4.1	-	-	合計	1,810,687	-	-	実質収支	-	-	-	-	-		
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	下水道	641,281	再差引収支	-288,269	-	-	-	-	-	-		
うち臨時財政対策債	475,449	1.9	-	-	上水道	24,249	加入世帯数(世帯)	5,271	-	-	-	-	-	-		
歳入合計	25,320,253	100.0	7,046,180	100.0	工業用水道	-	被保険者数(人)	9,698	-	-	-	-	-	-		
					交通	-	被保険者1人当り	89	-	-	-	-	-	-		
					国民健康保険	509,873	保険税(料)収入額	110	-	-	-	-	-	-		
					その他	635,284	保険給付費	265	-	-	-	-	-	-		

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。



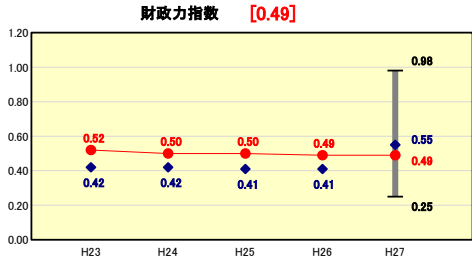
### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	29,232	人(H28.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	28,923	人(H28.1.1現在)	連 続 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	71.40	km <sup>2</sup>	実 質 公 債 費 比 率	5.4	%
歳入総額	25,320,253	千円	得 来 負 担 比 率	41.6	%
歳出総額	22,621,805	千円	市 町 村 類 型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1	
実質収支	2,036,058	千円	( 年 度 毎 )	H26 I-1 H27 I-2	
標準財政規模	7,408,020	千円			
地方債現在高	12,108,940	千円			



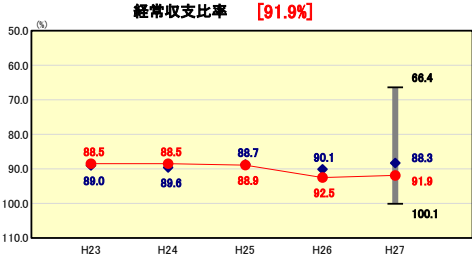
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表示しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表示しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 財政力



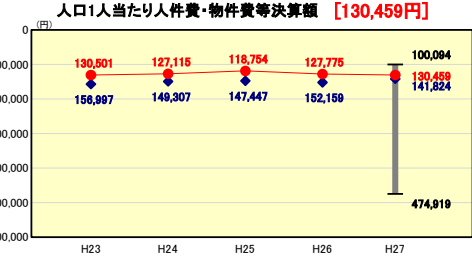
類似団体比較では、0.06ポイント低く、全国平均とほぼ同様であるが、茨城県平均からは0.21ポイント低い指数となっている。昨年度との比較では、基準財政需要額は、0.04ポイント増、財政力指数は昨年と同じ0.49ポイントとなっている。  
 今後、高齢化や市内の土地・家屋の価格の低迷、特に東日本大震災による土地の価格下落により市税等が減少、これらにより、基準財政収入額の減少が見込まれ、さらなる財政力指数の低下も考えられる。歳入の確保が継続しての課題であり、自主財源である税収入の向上に努めていく。

#### 財政構造の弾力性



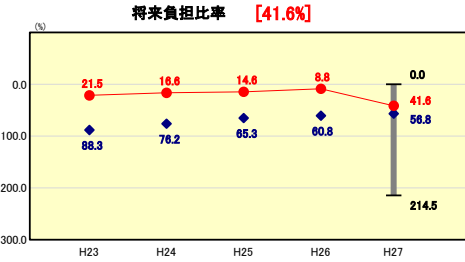
類似団体比較では、3.6ポイント低く、茨城県平均からは4.3ポイント低く、全国平均からは1.9ポイント高い指標となっている。財政硬直化から人件費と公債費の減によりH25までは類似団体同様に推移してきたが、H26、H27においては、税収は微増となったものの、主に普通交付税の減が影響し、ポイントが上がる要因となった。今後、社会保障経費による扶助費の増加と公共施設の維持管理費により、経常経費の削減は困難な状況にある。総合計画の目標である91%を上回っており、引き続き、事務事業の見直しにより、経常経費の削減に努めていく。

#### 人件費・物件費等の状況



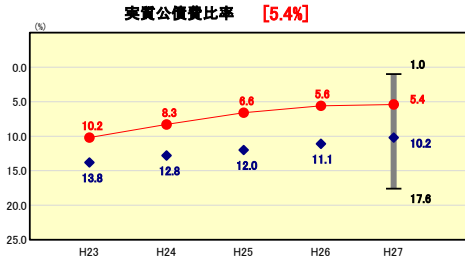
類似団体比較では、1人当たり11,365円低くなっている。人口3万人弱の地方自治体としては定員管理の抑制を進めてきた人件費効果は出ている。また、物件費においても、類似団体と比較して低くなっているが、今後も歳出全体の費用対効果を検証しながら、より効率的な見直しに努める。

#### 将来負担の状況



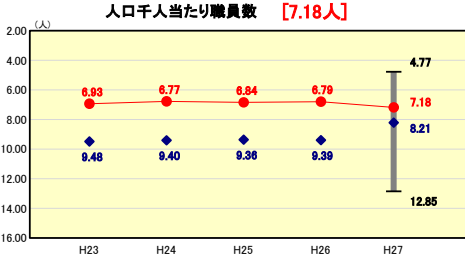
平成26年度までは、類似団体との比較では、低いポイントで推移してきたが、平成28年度に都市計画税を廃止したことで、平成27年度算定から、将来の都市計画税を見込まなくなったことにより、将来負担比率が急激に高くなった。今後、経常経費が増加し、財政調整基金の減少が見込まれることから、事業実施の適正化を図り、財政の健全化に努める。

#### 公債費負担の状況



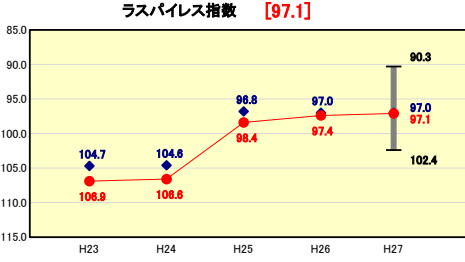
地方債発行抑制による元利償還金の減と基準財政需要額に算入される公債費の増により、類似団体平均と比較して4.8ポイント低くなっている。今後、経常経費が増加し、財政調整基金の減少が見込まれることから、引き続き地方債発行の抑制に努める。

#### 定員管理の状況



類似団体との比較では、1.03ポイント低く、全国平均・茨城県平均よりは若干高いポイントとなっているが、住民3万人弱の地方自治体としては、定員管理の抑制を進めてきた効果が出ている。今後の職員定員数においては、ほぼ現状維持となる見込みである。定年退職者数に対する再任用者と新規採用者が同数となるように管理していく。

#### 給与水準 (国との比較)



H23・24年度においては、国家公務員の臨時特例措置により100を超えている。類似団体比較では、0.1ポイント低く、全国市平均比較では2.0ポイント低い状況である。今後は、任用の明確化と職員職務遂行能力の実証に基づき、職務給原則の徹底に努める。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

茨城県潮来市

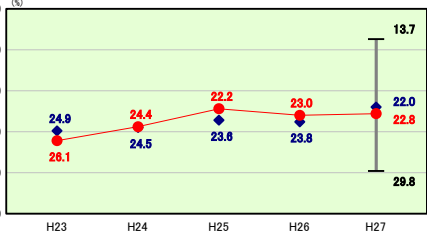
## 経常収支比率の分析

人口	29,232人	(H28.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	28,923人	(H28.1.1現在)	連結実収赤字比率	-%
面積	71.40	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	5.4%
歳入総額	25,320,253	千円	将来負担比率	41.6%
歳出総額	22,621,805	千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1
実収収支	2,036,058	千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2
標準財政規模	7,408,020	千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

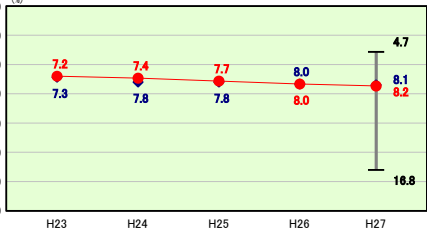
### 物件費



類似団体内順位 61/87 全国平均 14.3 茨城県平均 14.8

**物件費の分析欄**  
 物件費は類似団体・全国平均・茨城県平均よりも高いポイントとなっている。主な要因は、一般廃棄物処理施設を市単独で管理していること、公共施設の維持管理経費が他の地方公共団体と比較して高額なためである。また、復興事業の収束により、抑制してきた修繕等を順次再開したため、物件費は前年度よりも0.1ポイント上がっている。廃棄物処理施設は、近隣3市による広域的な施設整備計画に取り組んでいる。その他の公共施設においても潮来市公共施設等総合管理計画に基づいて維持管理の見直しを進めていく。

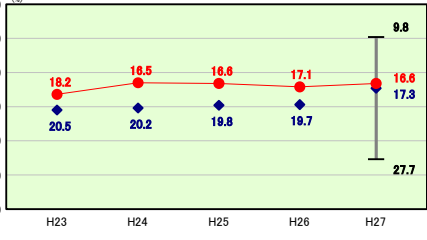
### 人件費



類似団体内順位 36/87 全国平均 23.3 茨城県平均 24.7

**人件費の分析欄**  
 平成25年度まで継続して減少してきた人件費は、平成26年度に若干の後退は見られたものの、平成27年度においては再び22.8ポイントに減少した。全国平均・茨城県平均との比較よりも低いポイントとなっている。  
 職員数は年齢構成にひずみがあるため、人件費の増加にならないような定員管理と階層別職員数の平均化を進めていく。

### 扶助費



類似団体内順位 35/87 全国平均 11.8 茨城県平均 9.5

**扶助費の分析欄**  
 類似団体と同水準で推移している。しかしながら扶助費は、少子高齢化対策等により増加傾向にある。法令等に基づくものがほとんどであるが、医療費の抑制のための市独自の検診費支援等は、適正な範囲を見極めながら、他の経費の増につながらないように注視し、進めていく。

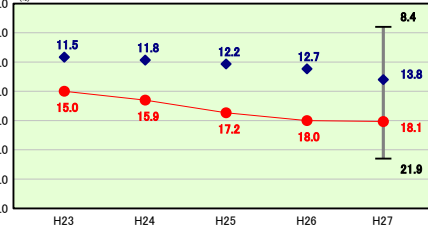
### 公債費



類似団体内順位 37/87 全国平均 17.4 茨城県平均 14.4

**公債費の分析欄**  
 公債費は類似団体及び全国平均からは下回っている。平成16年から続けてきた地方債発行抑制の効果が出てきている。今後も臨時財政対策債も含め、元利償還金内の地方債発行抑制を継続していく。

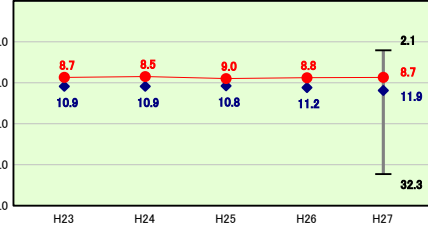
### 補助費等



類似団体内順位 18/87 全国平均 10.0 茨城県平均 9.8

**補助費等の分析欄**  
 補助費は、類似団体・全国平均・茨城県平均よりも低いポイントとなっている。平成27年度においては補助金・負担金の抑制に努めた結果、平成26年度よりも0.1ポイント下がっている。今後も、補助金・負担金の適正化に努める。

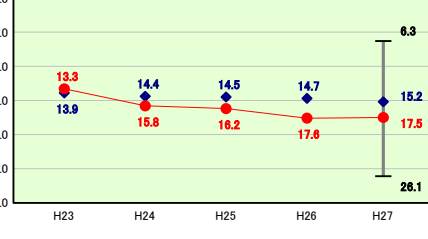
### その他



類似団体内順位 50/87 全国平均 13.2 茨城県平均 14.6

**その他の分析欄**  
 その他は、前年度から0.1ポイント低くなり、類似団体との比較では2.3ポイント高い状況であり、その主な要因は特別会計繰出金である。その中においても、国民健康保険特別会計への財源対策繰出金が多額になっていることによる。また今後、下水道事業の拡大が予定されていることから、各会計の健全化と一般会計負担軽減に努めていく。

### 公債費以外



類似団体内順位 42/87 全国平均 72.6 茨城県平均 73.2

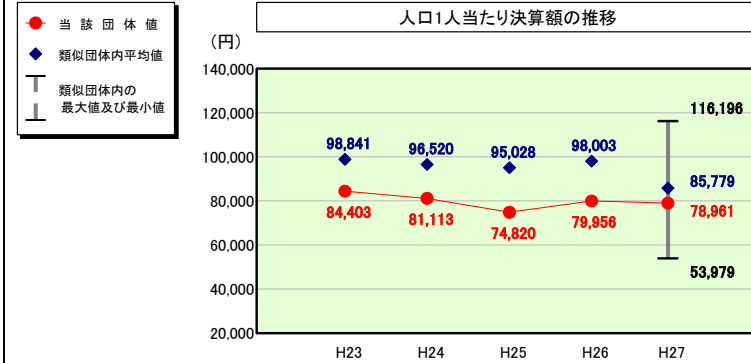
**公債費以外の分析欄**  
 公債費以外においては、施設維持管理費の増加による「物件費」の増と各特別会計への繰出金の増加による「その他」の増により、類似団体と比較しても4.3ポイント高くなっている。公共施設においては、潮来市公共施設等総合管理計画に基づいて維持管理の見直しを進めていく。また、全会計の健全化に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

茨城県潮来市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

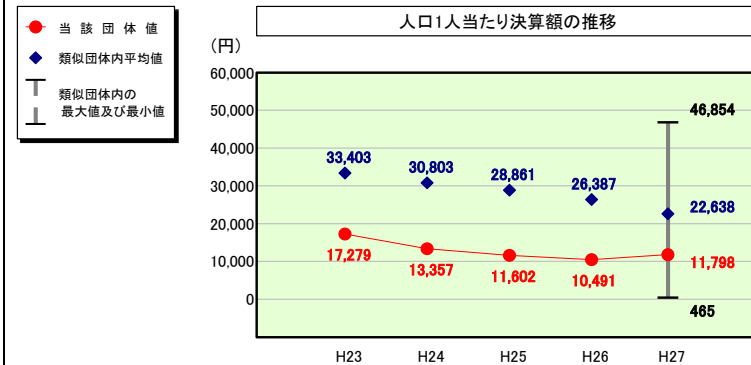
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,861,366	63,676	71,916	▲11.5
賃金(物件費)	44,902	1,536	7,911	▲80.6
一部事務組合負担金(補助費等)	318,843	10,907	7,787	40.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	906	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	13	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	127,965	4,378	3,077	42.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	129,153	4,418	1,653	167.3
▲退職金	▲174,055	▲5,954	▲7,483	▲20.4
合計	2,308,174	78,961	85,779	▲7.9

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.18	8.21	▲1.03
ラスパイレス指数	97.1	97.0	0.1

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

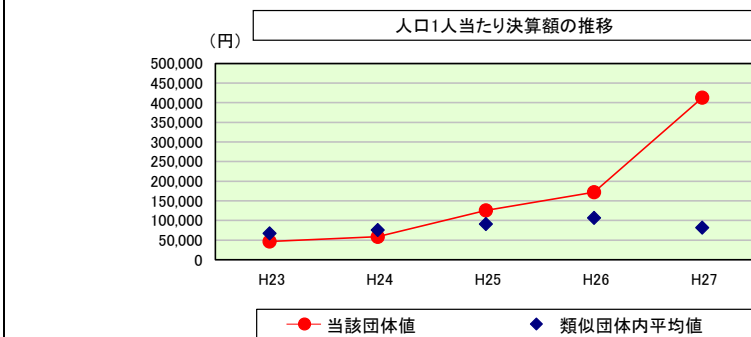


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,309,607	44,800	51,963	▲13.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	71	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	516,814	17,680	20,847	▲15.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	2,310	79	3,529	▲97.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	828	-
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	6	-
▲特定財源の額	▲195,460	▲6,687	▲4,386	52.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲1,288,404	▲44,075	▲50,220	▲12.2
合計	344,867	11,798	22,638	▲47.9

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H23	1,387,341	46,471	▲12.5	67,201	▲14.6	2.1
うち単独分	420,766	14,094	▲28.2	35,210	▲7.6	▲20.6
H24	1,748,420	58,351	25.6	75,709	12.7	12.9
うち単独分	344,058	11,482	▲18.5	35,212	0.0	▲18.5
H25	3,748,618	125,750	115.5	90,961	20.1	95.4
うち単独分	685,801	23,006	100.4	37,720	7.1	93.3
H26	5,066,656	172,095	36.9	106,614	17.2	19.7
うち単独分	759,282	25,790	12.1	45,545	20.7	▲8.6
H27	12,073,885	413,037	140.0	81,768	▲23.3	163.3
うち単独分	721,124	24,669	▲4.3	37,917	▲16.7	12.4
過去5年間平均	4,804,984	163,141	61.1	84,451	2.4	58.7
うち単独分	586,206	19,808	12.3	38,321	0.7	11.6

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

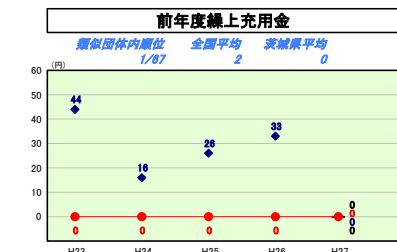
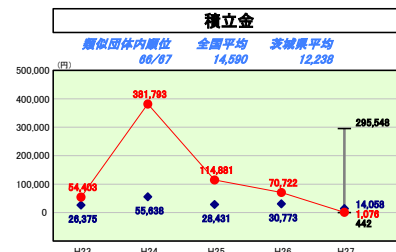
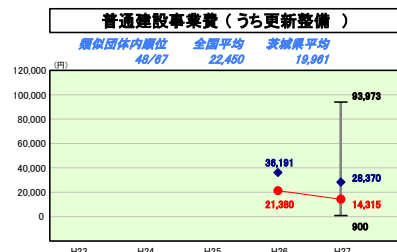
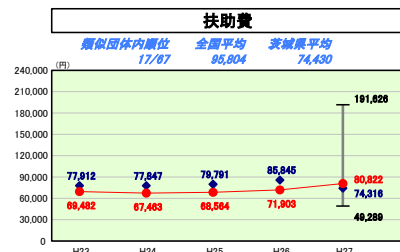
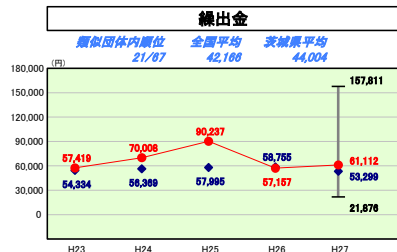
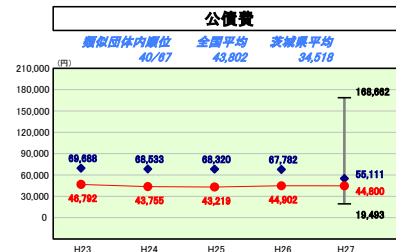
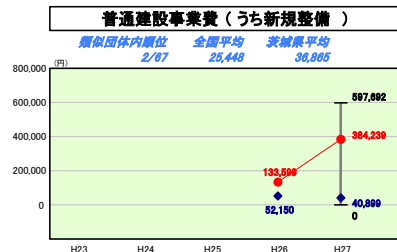
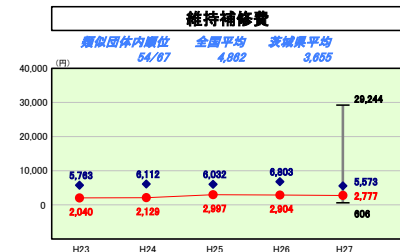
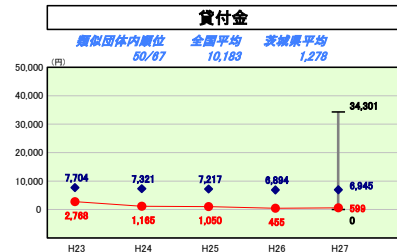
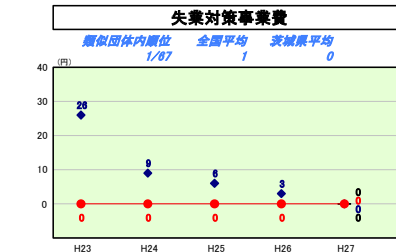
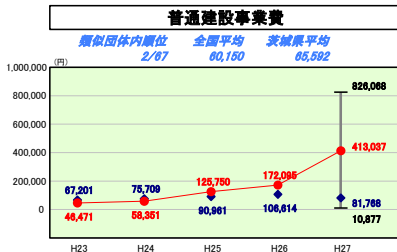
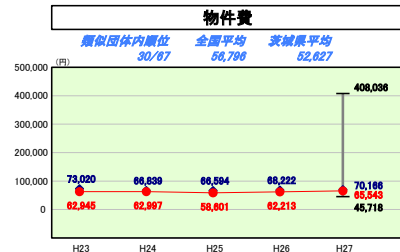
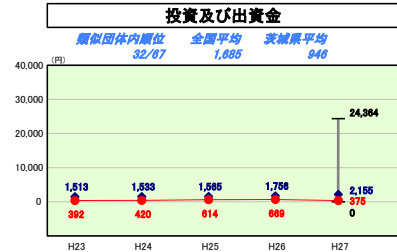
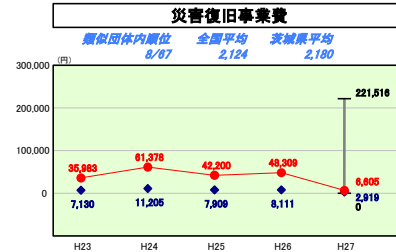
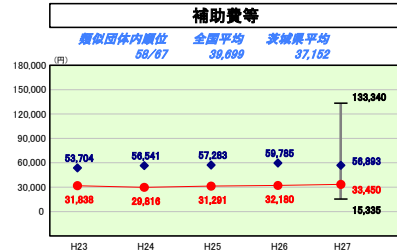
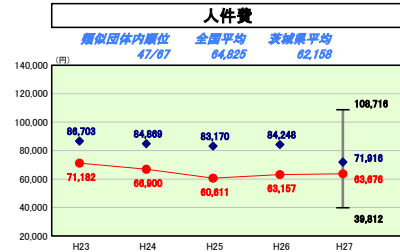
平成27年度

茨城県潮来市

人口	29,232人(H28.1.1現在)	実赤字比率	-%
うち日本人	28,925人(H28.1.1現在)	通算実赤字比率	-%
面積	71.40km <sup>2</sup>	実公債費比率	5.4%
歳入総額	25,320,253千円	将来負担比率	41.6%
歳出総額	22,621,805千円	市町村類型	H23 I-1 H24 I-1 H25 I-1
実収支差	2,698,448千円	(年度毎)	H26 I-1 H27 I-2
標準財政規模	7,408,020千円		
地方債現在高	12,108,940千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

普通建設事業費は住民一人当たり413,037円となっている。類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、東日本大震災の復興復旧工事の進捗見合に伴う増加等によるものであり、平成27年度は、前年度決算と比較すると140%、平成23年度決算比較では789%の増となっている。普通建設事業費は平成27年度が復興復旧工事のピークとなったため、今後は通常予算規模に近づいていく見通しである。  
 災害復旧事業費は住民一人当たり6,605円となり、類似団体と比較しても一人当たりコストが高い状況となっている。これは、東日本大震災の災害復旧工事によるものであるが、平成27年度に事業完了となっているため、前年度との比較では、一人当たりコストは41,704円減となり、今後は通常予算規模に戻る見通しである。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

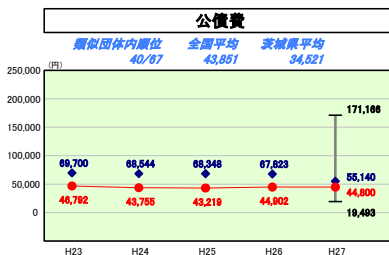
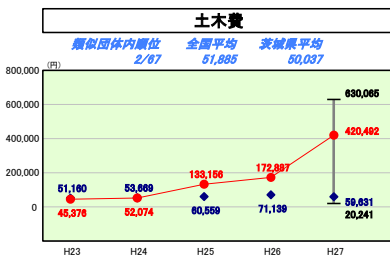
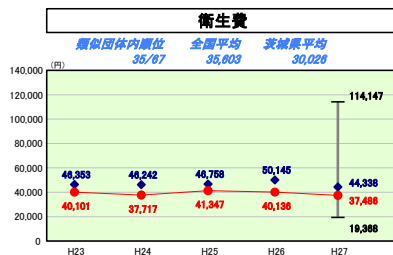
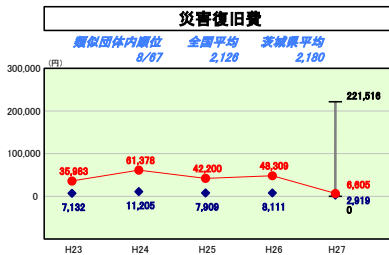
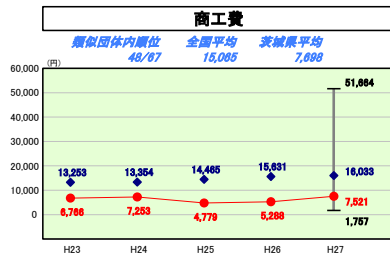
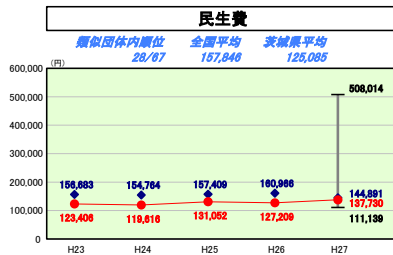
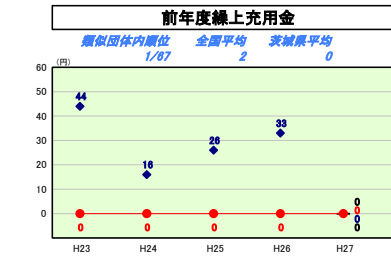
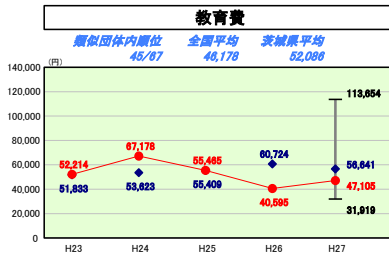
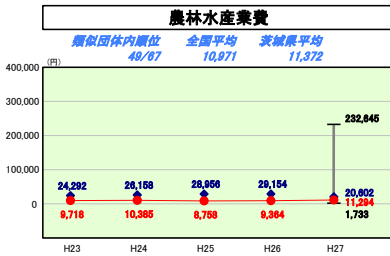
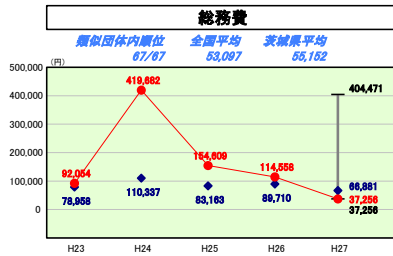
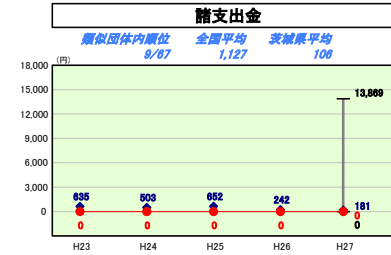
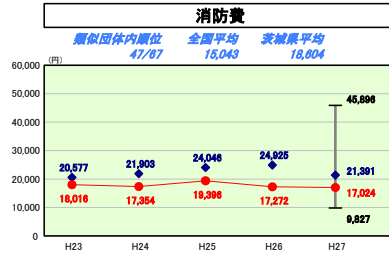
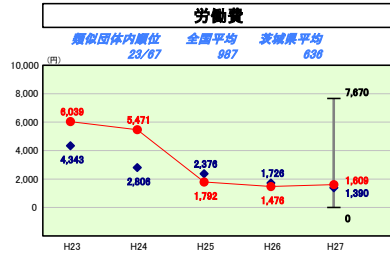
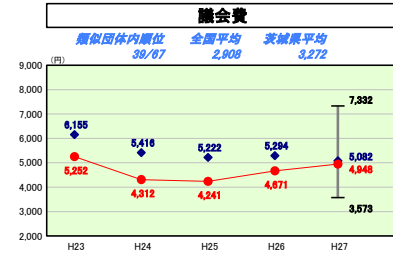
平成27年度

茨城県潮来市

人口	29,232	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	28,928	人(H28.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%	
世帯数	71,40	千戸	実質公債費比率	5.4	%	
歳入総額	25,320,253	千円	将来負担比率	41.6	%	
歳出総額	22,621,805	千円	市町村類型	H23 I-1	H24 I-1	H25 I-1
実質収支	2,038,058	千円	(年度毎)	H26 I-1	H27 I-2	
標準財政規模	7,408,020	千円				
地方債現在高	12,108,940	千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析値**  
 土木費は住民一人当たり420,492円となっている。土木費全体でみると東日本大震災の復旧復興工事が大部分を占めており、特に、平成27年度は液状化対策関連事業がピークとなったため類似団体順位でも2位の状況となっている。液状化対策工事は平成27年度で収束となるため、今後は土木費の住民一人当たりコストは下がる見込みである。  
 災害復旧費は住民一人当たり6,605円となっている。災害復旧事業は平成27年度に事業完了となったことから、今後は、なくなる見通しである。

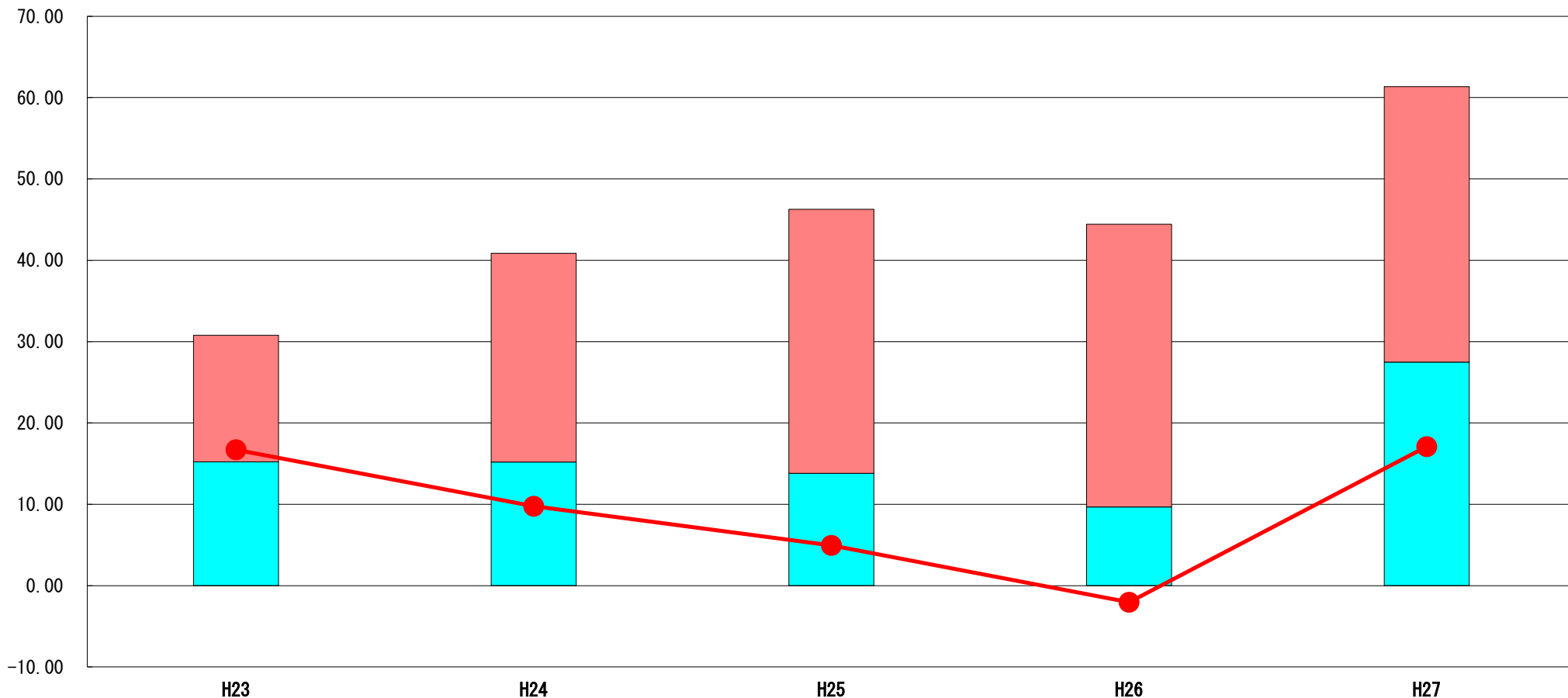


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成27年度

茨城県潮来市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
 財政調整基金残高		15.57	25.66	32.47	34.76	33.86
 実質収支額		15.22	15.20	13.81	9.67	27.48
 実質単年度収支		16.71	9.76	4.95	▲ 2.04	17.09

## 分析欄

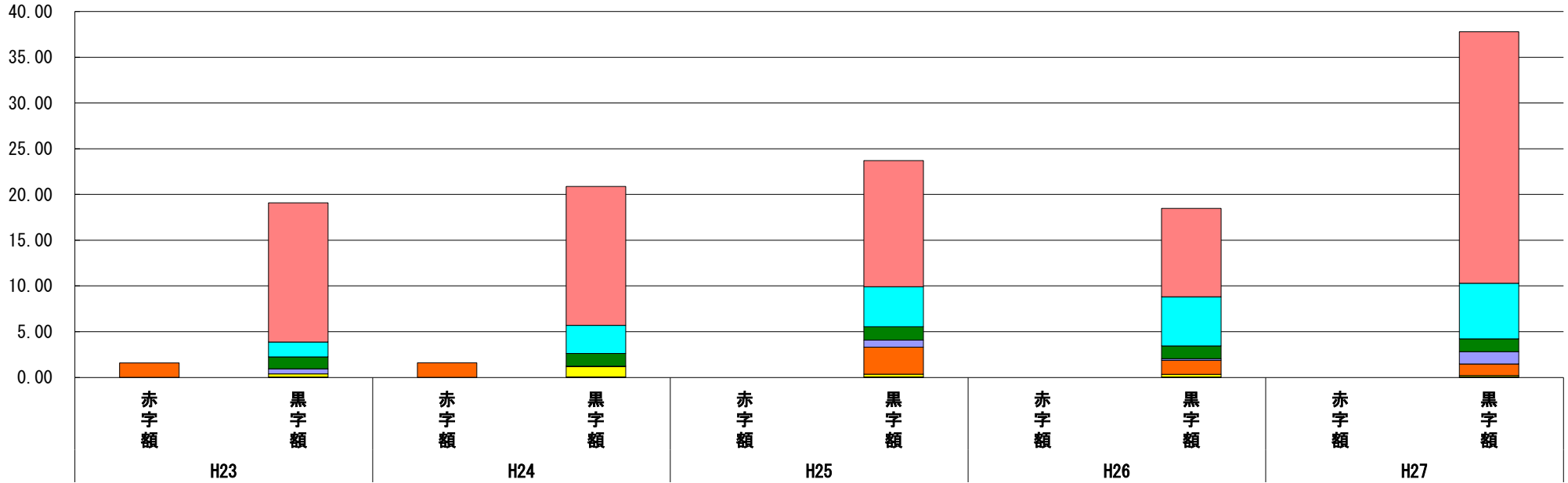
実質収支額においては、平成23年度から災害復旧復興予算により規模が倍増したため、標準財政規模に対する比率は高い状態で推移してきた。一般会計の実質収支においては、平成20年度に財政調整基金が枯渇状態となったが、平成21年度から主に公債費の抑制と人件費を削減し、財政健全化に努めてきた効果が出ている。平成23年度からは、一般会計と同規模の災害復旧復興予算対応のため、通常予算を抑制した効果もあり、財政調整基金は増加している。平成27年度の実質単年度収支はプラスに転じたが、これには災害復旧・復興事業費の精算金が10億円程度含まれているためであり、今後も引き続き財政運営適正化に努めていく。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成27年度

茨城県潮来市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
一般会計		15.21	15.19	13.80	9.66	27.48
潮来市水道事業会計		1.62	3.07	4.36	5.38	6.08
潮来市工業用水道事業会計		1.30	1.39	1.46	1.40	1.41
潮来市介護保険特別会計		0.56	0.02	0.78	0.17	1.34
潮来市国民健康保険特別会計		▲ 1.58	▲ 1.60	2.95	1.54	1.26
潮来市下水道事業特別会計		0.35	1.16	0.31	0.29	0.16
潮来市後期高齢者医療特別会計		0.01	0.03	0.04	0.03	0.04
潮来市農業集落排水事業特別会計		0.03	0.02	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

## 分析欄

連結においての赤字額は生じていない。しかし、国民健康保険特別会計においては、平成23年度から平成24年度、2年連続して赤字計上後、一般会計から財源対策繰入金により赤字解消としているため、今後も引き続き、改善に努めなければならない。

一般会計の黒字額増においては、合併直後のごみ処理施設改修等により、平成16年度公債費が歳出全体の19%を占めたため、以後、歳出改革に努めてきた。平成20年度には財政調整基金が枯渇状態となったが、平成21年度から、主に公債費抑制と人件費削減により財政健全化に努めている。

平成27年度においても、前年に引き続き、財政健全化は維持されている。

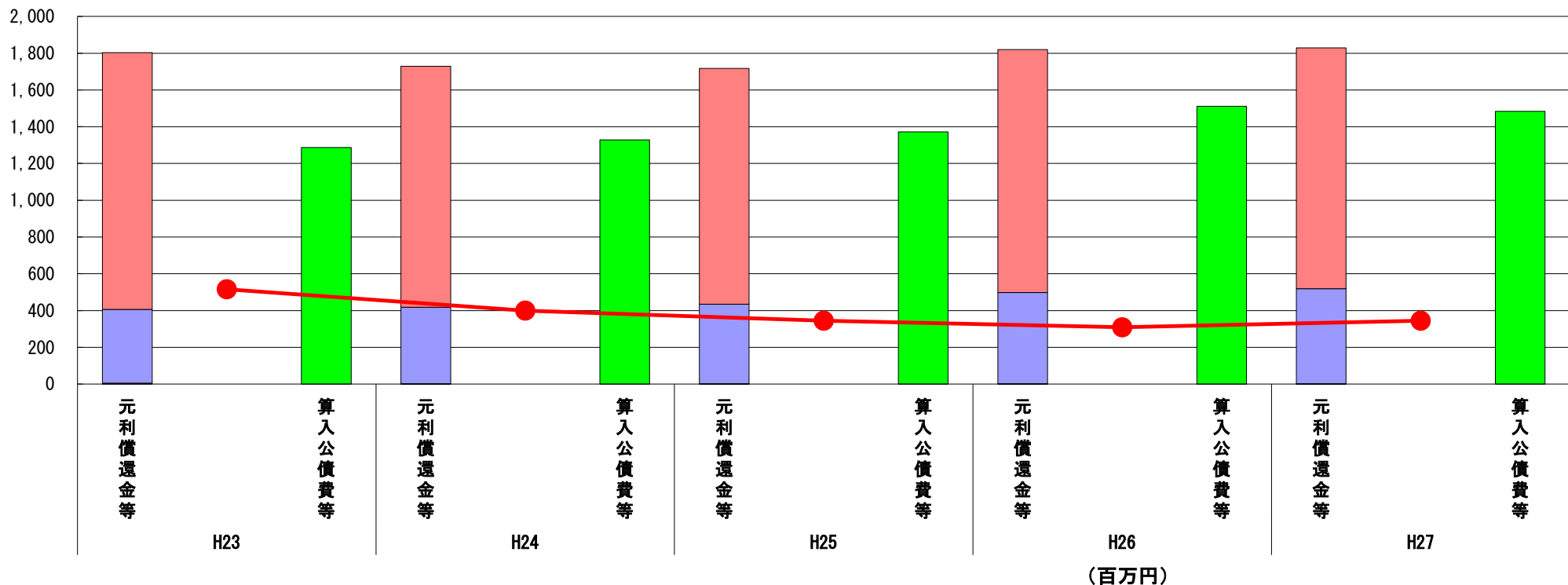
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

茨城県潮来市

(百万円)



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等(A)	元利償還金		1,397	1,311	1,282	1,322	1,310
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		401	416	433	496	517
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等		5	2	2	2	2
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,287	1,329	1,372	1,511	1,484
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		516	400	345	309	345

**分析欄**

実質公債費比率については、引き続き抑制を図っており、早期健全化基準を下回っている。主な要因としては、元利償還金の減少と算入公債費等の増加である。

引き続き、元利償還金内の地方債借入により、抑制に努めていく。

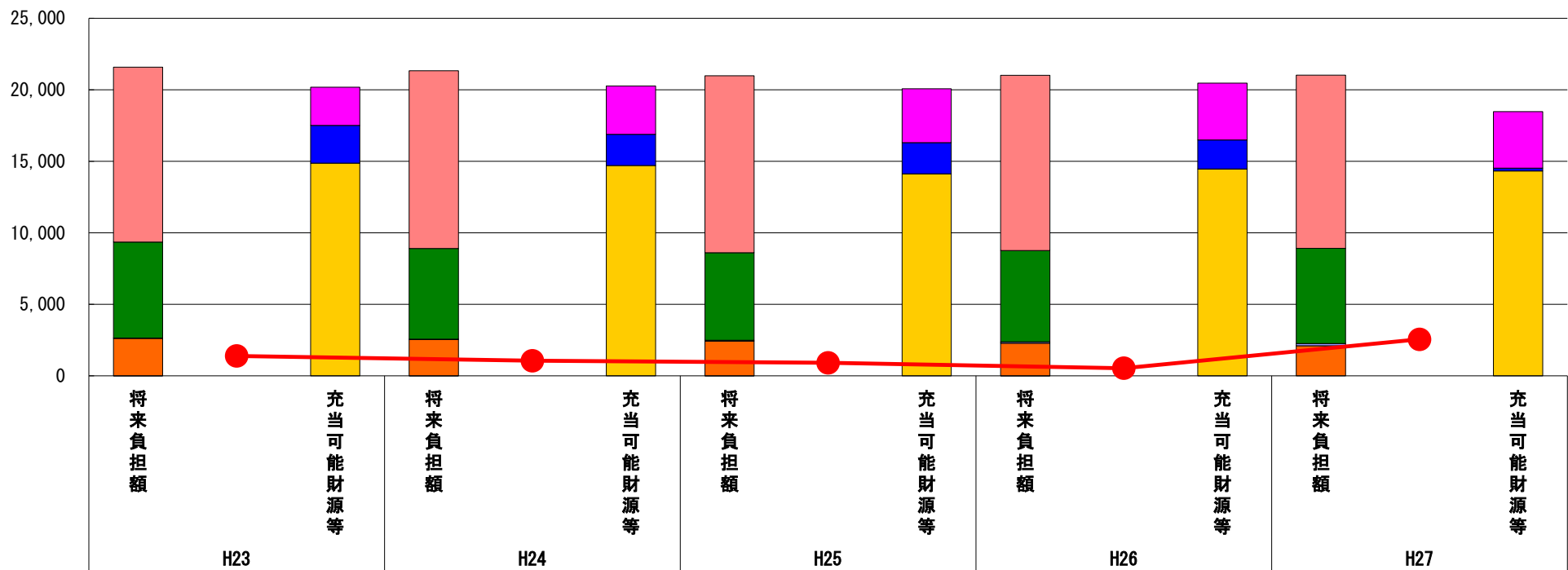
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

茨城県潮来市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		12,226	12,417	12,367	12,248	12,109
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		6,701	6,342	6,124	6,377	6,656
	組合等負担等見込額		31	30	67	98	149
	退職手当負担見込額		2,612	2,529	2,413	2,279	2,108
	設立法人等の負債額等負担見込額		5	5	6	4	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,672	3,385	3,759	3,981	3,948
	充当可能特定歳入		2,638	2,182	2,178	2,020	200
	基準財政需要額算入見込額		14,871	14,700	14,129	14,465	14,323
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,394	1,055	911	539	2,551

## 分析欄

実質公債費率は類似団体と比較して低い水準にあり、近年横ばいとなっているが、将来負担比率については平成27年度は、前年度に比較して上昇した。将来負担比率が上昇した主な要因は、平成28年度に都市計画税を廃止し、将来の収入見込みが減少したことによる。これにより、充当可能特定歳入が前年度までより減少し、将来負担比率の分子を引き上げた大きな要因となっている。地方債の発行においては、元利償還金内の地方債借入により、引き続き発行抑制に努めていく。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。